

MORITA GROUP

人と地球のいのちを守る

株主・投資家のみなさまへ

第84期 報告書

2016年4月1日▶
2017年3月31日



B u s i n e s s R e p o r t

Top Message ●ご挨拶

当社は、明治40年(1907年)の創業以来、長きにわたって、消防車のトップメーカーとして、わが国の消防技術発展の歴史とともに歩んでまいり、2017年4月に創業110周年を迎えました。これもひとえに株主様をはじめ関係各位からの温かいご支援、ご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

当社は、「人と地球のいのちを守る」というスローガンを掲げ、消防車両・防災・産業機械・環境車両の4つの事業を展開し、災害からかけがえのない生命、財産を守るというテーマと緑豊かな自然環境を守るというテーマに取り組んでおります。また、2016年1月にはフィンランドの消防車メーカーを買収し、事業のさらなるグローバル展開の足掛

かりをつくりました。

当社グループは、性別・国籍・年齢等に関係なく各々が能力を最大限に発揮できる環境づくりを進めています。特に、女性の活躍推進に対しては、研修や制度の充実化を図り、積極的に取り組んでおります。

そして、2016年度に定めた中期経営計画に掲げました、「新規市場の開拓」「既存事業の収益力強化」「商品開発力の強化」「持続的成長に向けた投資の推進」を基本方針とし、さらなる飛躍と企業価値の向上・社会貢献を図ることを目指してまいります。今後ともより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役会長兼CEO 中島 正博
代表取締役社長 尾形 和美

第84期の概況



当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による各種経済政策を背景として緩やかな回復基調となったものの、新興国経済の減速、英国の欧州連合(EU)離脱、米国の政策動向などを要因とした株価や為替相場の変動による国内景気への影響など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループは2018年度を最終年度とする中期経営計画「Morita Advance Plan 1000」の初年度として、企業価値の向上に向けた諸施策に取り組んでまいりました。

このなかで、特に消防車両事業が好調に推移した結果、当連結会計年度の売上高は、前期比16,489百万円増加し、85,063百万円(24.0%増)となり、営業利益は、前期比2,131百万円増加し、9,649百万円(28.4%増)、経常利益は、前期比2,006百万円増加し、10,129百万円(24.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比1,502百万円増加し、6,040百万円(33.1%増)となり、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益において過去最高を更新いたしました。

新型13mブーム付多目的消防ポンプ自動車MVFを開発、今年度より販売を開始

消防車両事業

モリタは、1台で消火、救助、資機材収納という様々な役割を果たす「13mブーム付多目的消防ポンプ自動車MVF (MORITA VARIOUS FIGHTER)」の新型四輪駆動車モデルを開発し、今年度より販売を開始いたしました。

MVFは、地上高約13.7m、マイナス約2.1mへ届くバスケットとブームを有し、アルミ製一段ポリュート式水ポンプ「MZI」、900LのPPタンク（ポリプロピレン製水槽）、さらにCAFS（圧縮空気泡消火装置）を搭載し、より効果的な消火活動を実現できる消防ポンプ自動車です。

今後も常に消防隊員の安全を守ることを基本に、さらなる技術革新に邁進してまいります。



13mブーム付多目的消防ポンプ自動車MVF

兵庫県三田市の北摂三田第二テクノパークにモリタエコノスの新工場を建設

環境車両事業

当社は、兵庫県三田市の北摂三田第二テクノパークに新工場を建設し、環境車両の製造販売をしているモリタエコノスが本年5月より操業を開始いたしました。

敷地面積約63,000㎡の新工場は、生産性の向上を最大の目的にシャシ・部品等の入庫・搬出までの一貫した管理と、製缶から下地塗装・組み立て・本塗装・検査までをムダのない合理的な工程で一貫して生産のできる工場となっております。

「常に、使う身になって、操作性と安全性を徹底して追求する」を基本に技術開発を行ってきました。近年においては、塵芥収集車の操作性と安全性を考え、機能美を追求した車両も開発し、多くの人に高評価を得ております。そして、世界的に有名なデザイン賞「iFデザイン賞」を受賞するなど話題は海外へも拡大しております。

新工場の稼働によって、塵芥収集車については生産量を25%増やし、1台あたりのコストを10%以上削減する計画です。

モリタグループは、三田テクノパークにモリタ、モリタテクノス、モリタエコノス3社が集結しました。グループの総力をあげて世界のモリタへと躍進してまいります。



モリタエコノス新工場



プレス式塵芥収集車 Press Master (プレスマスター)

パッケージ型自動消火設備Ⅱ型「スプリネックス ミニ」シリーズ

防災事業

モリタ宮田工業は、延べ床面積275㎡未満の小規模福祉施設において、スプリンクラー設備の代替品として設置が認められている、パッケージ型自動消火設備Ⅱ型「スプリネックス ミニ」の新モデル「CPW13094」を本年1月に販売を開始しました。

新モデルの「CPW13094」は、消火の際に放射する薬剤容量を増やすことで、従来の「スプリネックス ミニ」シリーズでは対応できなかった化粧合板など木質材料（不燃未満の壁材）を内装に使用した建築物にも設置することが可能になりました。消火薬剤を格納する箱の寸法も薄型のため、壁際に設置することで、部屋に圧迫感を与えることなく利用できます。

「スプリネックス ミニ」シリーズは、2016年4月より3機種の販売を開始し、スプリンクラー設備と同等の消火・抑制性能がありながら、設置費用が安価であり、簡単に設置工事ができることから、高い評価を得てきましたが、今回、さらに「CPW13094」をラインアップに追加することで、様々な建築条件や設置パターンに合った提案をすることが可能となりました。

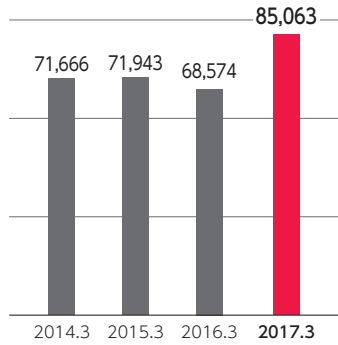


パッケージ型自動消火設備Ⅱ型
スプリネックス ミニ「CPW13094」

財務ハイライト(連結)

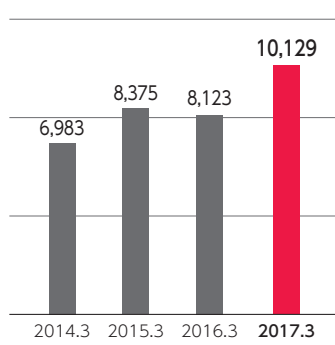
売上高

単位:百万円



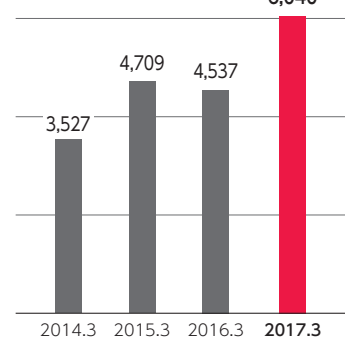
経常利益

単位:百万円



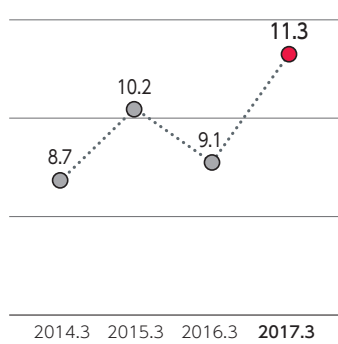
親会社株主に帰属する当期純利益

単位:百万円



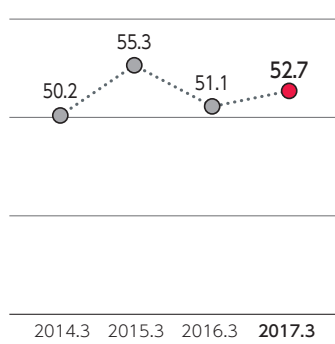
自己資本当期純利益率 (ROE)

単位:%



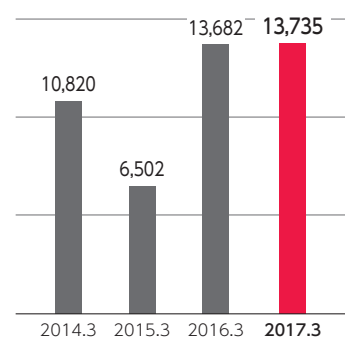
自己資本比率

単位:%



有利子負債

単位:百万円



セグメント別概況

防災事業

売上高 前期比 ↓
18,197百万円 8.7%減

セグメント利益 前期比 ↓
1,229百万円 31.0%減



消火器は堅調に推移するも、パッケージ型自動消火設備「スプリネックス」に対する補助金の次年度繰越が影響し、減収減益。

消防車両事業

売上高 前期比 ↑
51,979百万円 58.4%増

セグメント利益 前期比 ↑
7,175百万円 71.8%増



国内のマーケットシェア向上に加え、新たに連結子会社となったBRONTO SKYLIFT OY ABの業績が寄与した結果、増収増益。

環境車両事業

売上高 前期比 ↑
10,503百万円 6.5%増

セグメント利益 前期比 ↑
1,231百万円 8.5%増

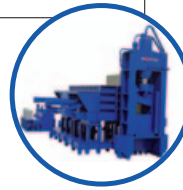


製品受注及び販売が引き続き堅調に推移した結果、増収増益。

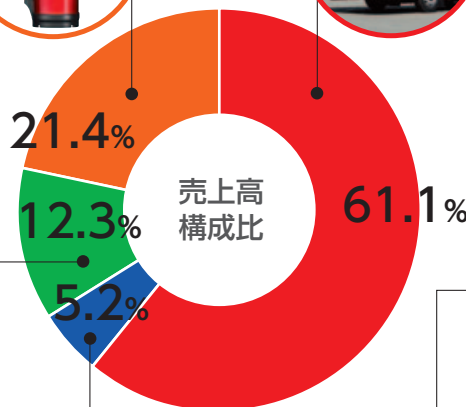
産業機械事業

売上高 前期比 ↓
4,383百万円 26.4%減

セグメント利益 前期比 ↓
49百万円 88.3%減



部品・メンテナンスの販売に注力するも、製品受注の減少が影響し、減収減益。



売上高
構成比

会社・株式情報

商号	株式会社モリタホールディングス
創業	明治40年4月23日
設立	昭和7年7月23日
資本金	47億4,612万円
大阪本社	大阪市中央区道修町3丁目6番1号
東京本社	東京都港区西新橋3丁目25番31号
事業内容	グループ各社の事業活動の支配・管理及び管理間接業務の受託

役員

代表取締役会長兼CEO	中島正博
代表取締役社長	尾形和美
取締役副社長	前嶋幸広
取締役	磯田光男
取締役	川西孝雄
常勤監査役	浅田栄治
常勤監査役	佐々木純
常勤監査役	高野祐介
監査役	太田将
常務執行役員	金岡真一
常務執行役員	村井信也
執行役員	浦野ヒロ子
執行役員	坂本直久

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	電子公告とし、当社のホームページに掲載する。 http://www.morita119.com/kohkoku/index.html
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所
1単元の株式数	100株

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【大阪本社】

〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号
☎06-6208-1907

【東京本社】

〒105-0003 東京都港区西新橋3丁目25番31号
☎03-5777-5777

<http://www.morita119.com>

人と地球のいのちを守る

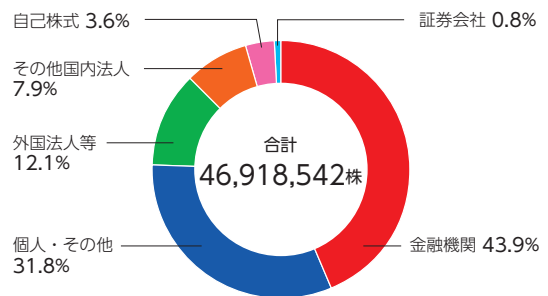
MORITA
株式会社モリタホールディングス

主要グループ会社

株式会社モリタ	兵庫県三田市テクノパーク1番地の5 はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防車両並びに特殊車両の開発・製造・販売
モリタ宮田工業株式会社	東京都港区芝2丁目5番6号 芝256スクエアビル8階 消火器を中心とした消火関連機器、消火装置、その他各種防災機器・設備の開発・製造・販売
株式会社モリタ環境テック	千葉県船橋市小野田町1530番地 リサイクル処理施設、その他各種ごみ処理施設の設計施工並びに各種大型油圧機械の開発・製造・販売
株式会社モリタエコノス	兵庫県三田市テクノパーク28番地 衛生車、塵芥車等の環境保全車両の開発・製造・販売
株式会社モリタテクノス	兵庫県三田市テクノパーク32番地 消防車両・救助用資機材等のアフターサービス・メンテナンス並びに電子応用機械器具・情報処理機械器具の開発・製造・販売
BRONTO SKYLIFT OY AB	フィンランド共和国 タンペレ市 屈折はしご付消防車及び高所作業車の開発・製造・販売

所有者別株式数分布状況

2017年3月31日現在



大株主(上位10名)

2017年3月31日現在

株主名	持株数(千株)
第一生命保険株式会社	3,265
モリタ取引先持株会	2,506
株式会社みずほ銀行	2,087
三井住友信託銀行株式会社	2,082
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,048
株式会社三井住友銀行	2,007
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,795
エア・ウォーター株式会社	1,730
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,141
モリタ従業員持株会	901

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式 1,679千株を保有しております。



ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。